

事業計画書

申込年月日 令和 3年 6月 1日			
団体名	特定非営利活動法人 さかえ区民活動支援協会		
代表者名	理事長 磯崎保和	設立年月日	平成21年9月15日
団体所在地	横浜市栄区桂町279-29		
電話番号	045(894)8771	FAX 番号	045(894)9423
現在運営している施設名	所 在 地	運 営 開 始 年 月 日	
横浜市本郷地区センター	横浜市栄区桂町 301	平成 7 年 4 月 1 日	
横浜市豊田地区センター	横浜市栄区飯島町 1368-1	平成 7 年 4 月 1 日	
横浜市上郷地区センター	横浜市栄区上郷町 1173-5	平成 18 年 5 月 1 日	
老人福祉センター横浜市翠風荘	横浜市栄区野七里 2-21-1	平成 18 年 4 月 1 日	
横浜市桂山公園こどもログハウス	横浜市栄区桂台中 16-1	平成 7 年 4 月 1 日	
横浜市飯島コミュニティハウス	横浜市栄区飯島町 1863-5	平成 19 年 5 月 1 日	
横浜市上郷矢沢コミュニティハウス	横浜市栄区桂台南 2-34-2	平成 25 年 3 月 11 日	
本郷小学校コミュニティハウス	横浜市栄区中野町 16-1	平成 7 年 4 月 1 日	
庄戸中学校コミュニティハウス	横浜市栄区庄戸 3-1-1	平成 9 年 4 月 19 日	
栄公会堂・栄スポーツセンター (JV 事業)	横浜市栄区桂町 279-29	平成 23 年 4 月 1 日	

<目次>

	ページ番号
1 運営ビジョン	P 2
2 団体の状況	P 3
3 職員配置・育成	P 5
4 施設の管理運営	P 7
5 事業の企画・実施	P 13
6 区として強化したい機能	P 15
7 収支計画及び指定管理料	P 16
8 加減点項目	P 17

事業計画書

1 運営ビジョン 地域における老人福祉センターの役割

老人福祉センター横浜市翠風荘周辺地域の状況・課題や地域の将来像を踏まえ、指定管理者として行うべき取組を具体的に記載してください。

■ 施設の設置目的を踏まえた運営方針

第3期栄区地域福祉保健計画「さかえ・つながるプラン」の中では、『いつまでも安心して暮らせる地域社会づくり』があげられておりシニア世代の自己啓発の機会づくりが重要とされています。また、シニア世代の拠点の一つとして区役所、地域ケアプラザ、地区センター等他の関係機関と連携し情報発信の役割も期待されています。その中で老人福祉センター横浜市翠風荘は、文化、芸術、スポーツ、健康づくりなど自主的なグループ活動や自主事業を展開しており、栄区を中心に多くの高齢者が利用しています。

高齢者の居場所は地域づくりの基盤

人と人とのつながりが生まれ、助け合う関係作り

自分の存在を
確認できる

経験や能力を生か
すことができる

時間を自由に使
うことができる

いつでも立ち寄れて
帰ることができる

誰もが利用できる

■ 地域の特性・課題

栄区の高齢化率は、30.8%で18区中、最高となっています。なかでも、庄戸、桂台南、野七里の一部は50%を超えており急速に高齢化が進んでいます。しかし、栄区の65歳以上の要介護認定者率は、15.8%で18区中最低となっており、元気なシニア世代が地域で活発に活動し、安定した生活を送っている事がうかがえます。

翠風荘の具体的目標

- ・ 趣味や教育の場としてまた、人との交流の場としての生きがいづくり
- ・ 教育講座や生涯学習の開催による自己啓発の場の提供
- ・ 地域交流による日常の支え合い、情報交換や社会参加の場の促進
- ・ 関係機関との交流等シニアのネットワークの拠点としての働き
- ・ 健康に関する相談や介護予防等健康の維持、増進を図る活動の推進

2 団体の状況

(1) 団体の理念・基本方針・業務実績等について

団体の理念や基本方針、業務実績等について、記載してください。

■ 団体の理念、基本方針

経営方針

- ① だれでも何度も利用したくなる、魅力ある施設を目指します。
- ② 地域の自主的な活動を支援し、活力ある地域づくりに貢献します。
- ③ お客様ニーズをすばやく捉え、サービス向上につなげます。
- ④ 行政と協働し、施策とタイアップした事業を展開します。
- ⑤ コスト意識を徹底し、効率的な運営を実行します。

さかえ区民活動支援協会は、地区センターやコミュニティハウスなどの運営を通じて、生涯教育の推進、健康スポーツ事業などの自主事業や地域交流、まちづくりの推進を図る様々な事業に取り組んできました。経営方針に「**全ては地域や区民のために**」を掲げ今後も地域に密着し、地域の利用者との信頼と絆を大切にしながら区内の貴重な地域資源や蓄積した運営ノウハウを活かし区民の交流と支えあいを積極的に支援して地域のつながりによる更なる発展を目指します。

■ 団体の業務実績

本郷地区センター・豊田地区センター・上郷地区センター・老人福祉センター横浜市翠風荘等9施設の運営管理を実施。令和元年度では9施設で年間約42万人の利用がありました。この年は利用人数の減少がみられましたが、これは年度末に発生した新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館の影響が出たものと考えられます。また、地域交流の支援として地区センター祭りや文化祭、活動グループの交流や世代間の交流も進めてきました。

■ 老人福祉センター 翠風荘の業務実績（令和元年度）

自主事業数	開催数	参加人数	主な事業名
21回	128回	3,056人	歌ってハツラツ、らくらく体操、ミニコンサート、古典に親しむ、輪踊り、山散歩等
11回	28回	1,902人	御衣黄桜お花見会、翠のつどい、文化祭落語、オープンデー、園児が来るよ～！等
(合計)32回	156回	4,958人	



翠のつどい

「女性のための麻雀教室」「スマホ教室」等新規自主事業も好評です。「輪踊り」「歌ってハツラツ」等は長期間にわたり人気が高いため継続実施をしています。「文化祭」「翠のつどい」の舞台発表や展示は一年間の集大成の場としてグループの結束を強めています。地元シニアクラブ主催のカラオケ大会も開催されています。

(2) 財政状況について

予算の執行状況、法人税等の滞納の有無、財政状況の健全性、安定した経営ができる基盤等について記載してください。

1 支援協会の予算執行の基本的考え方

支援協会は、地区センターなどの公の施設を運営するだけでなく、まちづくりの推進、生涯学習の推進、青少年の健全育成、健康スポーツ事業など様々な自主事業を展開しています。

NPO法人の設立主旨を念頭に、それぞれの施設が設置の目的である地域コミュニティの活性化などに寄与するように、営利よりも利用者へのサービス向上など、地域や利用者への還元を第一に効果的な予算執行を行います。

また、基本協定書及び支援協会の「経理規程」に則って、適切に予算執行を行ってまいります。

2 法人税等の滞納の有無

法人税、法人事業税、法人県民税、法人市民税、消費税について適正に納税し、滞納はありません。

3 財務状況の健全性

令和元年度決算において、総資産対正味財産比率が88.6%となり、次のとおり高い安全性を維持しています。

○令和元年度決算数値

1	総資産対正味財産比率 (正味財産/総資産×100)	88.6%	総資産対正味財産比率は、88.6%を示し、返済義務のない安定的な資産で運営しています
2	当座比率 (流動資産(棚卸資産除く)/流動負債×100)	872.1%	当座比率は、872.1%となっており、短期的な支払(負債)について十分対応する能力を有しています
3	借入金比率 (借入金/総資産×100)	0%	無借金の経営体質となっています
4	現金及び現金同等物の期末残高	131,554 千円	過去及び現在において不良債権はありません

4 安定した経営ができる基盤

支援協会は、平成21年度設立以来、すべての決算において収支差額がプラスになっています。令和元年度末 正味財産は、116,796,092 円であり、安定した経営基盤を維持し続けています。

3 職員配置・育成

(1) 所長及び職員の確保、配置

老人福祉センターを運営していく上で、所長（予定者）及び必要な職員の確保、適正な配置について、その考えを記載してください。

安心してくつろげ、広く交流を行いながら趣味の世界や運動を楽しむ施設である事から業務遂行に必要な人数を確保することや資質の高い職員の採用・育成が必要です。そのため研修を計画的に実施し職員全体のレベルアップをはかります。

■ 職員の採用

- ・ **高齢者の気持ちや特性を理解し、生涯学習や地域活動等に意欲のある人**を採用します。
- ・ 常勤職員は老人福祉センターの運営に意欲・知識がありかつ指導力・企画力・調整力・事務能力がある職員を採用します。
- ・ スタッフ職員は利用者と直接かかわる仕事であることから、高齢者に寄り添い利用者の身になって考えることができ、細やかな気配りのできる人、明るく親切な対応のできる人を採用します。地域に応募チラシの配布等を行い一般公募にて採用します。

■ 配置計画

- ・ 常勤職員として所長1名、副所長2名を配置し、3名によるローテーション勤務とします。常時、原則2名が在勤し、責任者としてあらゆる問題や事態に対処できる体制にします。
- ・ スタッフ職員は、午前勤務と午後勤務のローテーションとして、誰もが両方の業務に従事できるようにし、緊急な対応も速やかに取れる体制とします。

【勤務体制】

- (1) 勤務時間：常勤職員(8:30～17:00)＊開館時間中 原則2名以上の体制
非常勤スタッフ 早番(8:30～12:00)
遅番(12:30～16:30)

(2) 各職員の業務種別

ア 常勤職員

庶務、経理事務 自主事業企画実施 同好会取りまとめ 広報、統計 非常勤スタッフの全体調整 施設管理等

イ 非常勤スタッフ

受付等窓口での案内（予約、利用等）物品貸出 施設利用に関する案内 施設清掃 利用者の対応 施設管理等

朝、昼、夕の打ち合わせ



(2) 職員の育成・研修

老人福祉センターの機能を発揮するための、人材育成及び研修計画について記載してください。

利用者にとって「居心地の良い場所」であるためには、職員全員が、接客・接遇の心と技術を向上させることが重要と考えます。そのためサービスに対する考え方や行動の型などを学び、おもてなしの心と形を身に着けるために常勤職員・スタッフ職員が「サービス接遇検定の取得」を目指します。

「サービス接遇検定の取得」制度

平成 27 年度から希望する職員全員に対して、支援協会が受験料・テキスト代等を負担し団体受験をする制度を新設

※(公財)実務技能検定協会主催、文部科学省後援

2 級取得	4 名
3 級取得	7 名

令和 3 年 4 月

サービス接遇検定結果

テキスト

■ 新採用職員研修

- ・全体の流れをつかむことができるよう、3 月に事前実地研修を半日単位で 2 回行います。
- ・各ポジションの仕事をしっかり身につけられるよう、しばらくは研修指導スタッフが付き添い、1 対 1 できめ細かく丁寧に指導をします。
- ・各ポジションの**仕事内容や手順などをまとめたマニュアル**は、前掛けのポケットに入れて、いつでも確認できるようにし、安心して仕事のできる環境を整えます。
- ・対応の統一化を図るため**伝達事項の連絡ノート**を作りそれぞれが確認しチェックをします。

■ 研修一覧

職員・スタッフ研修	個人情報保護研修	個人情報保護・人権尊重の感性を磨きスキルアップを図ります。目的意識を持った主体的な参加をはかります	年 2 回 (6, 11 月)
	人権研修		
	接遇研修		
研修 新採用	防災、危機管理研修	災害発生時の役割分担、避難誘導の仕方、救命救急法、事故発生時における対応について実技を交えて実施 (消防署講師あり) ・火災・大地震発生時の避難訓練 (利用者の参加あり)	年 1 回 (4 月) 年 2 回
	全体研修	施設運営、区の事業等についての研修	年 1 回(3 月)
	新規採用職員研修	業務内容、危機管理、接遇等についての実務研修	年 1 回(3 月) 半日単位 2 回
外郭団体研修			随時参加
業務ミーティング		業務内容の連絡、調整を行い、話し合いを通じて現場での問題点を取り上げることに より利用者への対応の改善はかります	年 1 回(全体) 毎日 3 回 (朝・昼・夕)
サービス接遇検定		サービスに対する考え方や行動の型などを学び、おもてなしの心と形を身に着けます	年 1 回

4 施設の管理運営

(1) 施設及び設備の維持保全及び管理・小破修繕の取組

施設の安全確保及び長寿命化の観点から、維持保全（施設・設備の点検など）計画及び、修繕計画の考え方を記載してください。

- お客様の安全を図り、安心して施設利用ができるよう、定期的な施設点検を実施し、施設の状態を良好に保ちます。

「横浜市公共施設の保全・利活用基本方針」に基づき施設管理者による公共施設の施設管理者点検を実施。大規模工事を抑える為に小破修繕をすすめ簡単なものは直接修理を行います。

- 施設管理、会計経理の一体化

施設管理、会計管理を支援協会で一体的に行うことにより、経費を節減すると共に、管理費の縮減を図ります。また、施設の修繕計画を策定し優先順位に従い効率的な修繕を行います。

定期施設点検・検査

電気・機械設備	
受電設備定期点検	年6回
ボイラー煤煙測定	年2回
冷凍機整備点検	年3回
衛生管理	
高架水槽点検	年1回
冷却塔水質検査	年3回
飲料水水質16項目検査	年1回
清掃等	
新受水槽清掃点検	年1回
雑排水槽清掃点検	年1回
貯水槽清掃法定点検	年1回
建物等	
空調機器フィルター点検、交換	年1回
自動ドア保守点検	年4回
機械警備機器点検	年1回

- 長寿命化のための計画的なメンテナンスを実施

電機、機械、水道設備等の定期点検、清掃等を専門業者が実施し、設備の異常を早期発見して対応します。見積りを取り廉価で堅実な業者を選定します。

- 令和2年度の主な修繕

- ・洋式便器漏水修繕（11月）
- ・非常用発電機修理（11月）
- ・カーペット修繕・3か所（12月）
- ・ボイラー1号機修理（1月）
- ・鉄塔修繕工事（3月）
- ・冷却塔排水弁交換（3月）

- 令和2年度の施設の主な維持管理

項目	業務	内容	実施状況
電気・機械設備	電気機械設備運転保守管理	包括管理、日常巡視点検	毎日
	ボイラー運転管理	常時遠方監視、定期点検	年1回
清掃等	カーペット清掃	定期清掃	年2回
	窓ガラス清掃	定期清掃	年4回
	排水管清掃（洗面台等）	定期清掃	年1回
	屋上ドレンポット清掃	定期清掃	年1回
	植栽剪定・草刈り	剪定、除草	年5回
	害虫駆除	室内殺菌消毒	年2回
建物等	消防用設備点検管理	定期点検	年2回
	機械警備点検	定期点検	毎日
衛生管理	冷却塔冷却水管薬液洗浄	定期清掃	年5回
	座布団乾燥・消毒	定期消毒	年1回

(2) 事故防止対策・緊急時の対応及び防災に対する取組

- ① 事件・事故の防止体制や事故発生時・緊急時の対応（急病・災害時の対応など）、連絡体制などに具体的に記載してください。

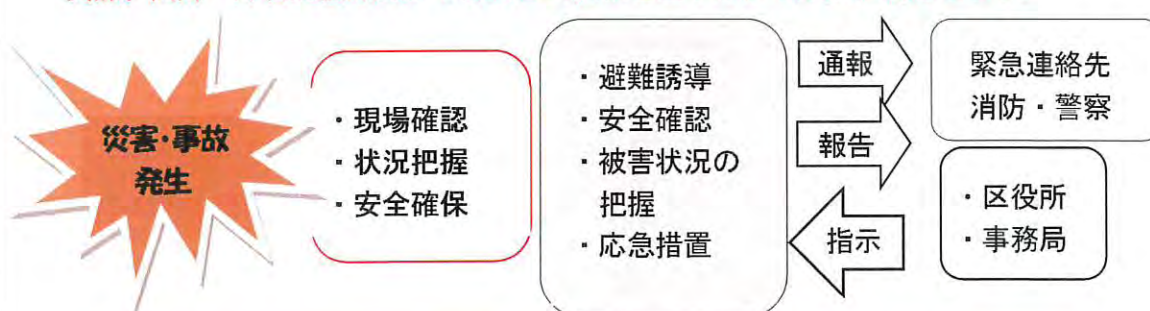
■ 事件・事故の防止体制

防犯・防災計画に基づいて**緊急時の対応を全職員に徹底**し、ミーティング等を定期的を開催することにより、一層の自覚を促すと共に的確な対応力が身につくようにします。
また、所長は防火・防災管理者の資格を有し、研修にも積極的に参加します。

1. 危機管理対応マニュアルの整備	緊急事態発生時の施設利用者の生命及び身体保護並びに安全確保、職員の役割分担等初動体制等を中心とした緊急時マニュアルを整備します
2. 緊急連絡体制の整備	災害や感染症発生時、職員・スタッフが迅速に対応できるように緊急連絡網等を作成します
3. 関係機関への連絡及び報告体制の整備	区役所、警察署、消防署等の緊急連絡先一覧を作成します
4. 職員に対する情報の周知	館内の事故等に関する情報共有を行い、今後の再発防止に役立てます
5. 施設内研修の実施	事故発生防止、感染症対策の基礎的内容等の適切な知識を学びます

■ 事故発生時・緊急時の対応

- ・事故等の**緊急時の連絡体制を整備**し、所長の適切な判断により対処します。
- ・市内に震度5以上の地震が発生した場合や風水害等の対応については速やかに施設の安全確認を行うとともに、**横浜市の防災情報や報道を的確に把握し、利用者の安全を第一に地域振興課、高齢・障害支援課及び事務局との調整を図りながら迅速に対応**します。



災害時には、休務中の職員も身の安全を確認したのち出動します



AED 研修

- ② 市、(区) 防災計画を踏まえ、地域との連携を図るためにどのような取組みができるか記載してください。

■ 区防災計画に沿った対応

区と支援協会は「災害時における在宅要援護者の特別避難場所の協力に関する協定」を結んでおり、翠風荘は、在宅の要支援者のための「福祉避難所」となる場合があります。福祉避難所に指定された場合、区災害対策本部の指示のもと、協定に従って福祉避難所の運営に協力します。

福祉避難所

栄区と福祉避難所の協定を結び、災害時に地域防災拠点では避難生活を送ることが難しい高齢者等の受け入れを行います。(受入れ人数：30名)

- ・時間外の対応については、自宅が近い職員が福祉避難所の開設準備等初期活動を行います。
- ・福祉避難所に必要な応急備蓄物資の保管を行い、在庫状況の管理を適切に行います。また突然の開設に備え 避難場所となる各部屋の衛生管理を常に行っていきます。
- ・年2回開催される「栄区福祉避難所連絡会」に参加します。
- ・年1回開催される「栄区福祉避難所 情報受伝達訓練」に参加し、発災時の区役所との連絡調整、避難者の受け入れがスムーズにいくように努めます。

■ 災害への取り組み

1. 防火管理者の役割	・施設長は防火管理者の資格を有し、防災計画、消防計画を作成します
2. 地震対策	・各部屋の棚の固定や落下しやすい物をまとめるなどの落下危険物を点検し、安全を図ります また、避難路となる廊下の危険防止のために陳列棚の配置の工夫や固定を行います また、地震発生時には施設全体の点検を行うと同時に来館者の安全を図りながら避難誘導を行い、区役所、事務局等への状況報告をしていきます
3. 感染症対策	・新型コロナウイルス等の感染症に対し室内換気の整備(窓開け、空気清浄機の設置) 手指の清潔保持(入館時の手指消毒、自動水栓の利用等) レイアウトの変更(密の回避等) 健康管理(入館時の検温、健康チェック等)を行い感染症の発生を予防します ・その他消化器系感染症の予防としても手洗い、体調管理への声かけ等を進めています
4. 台風、暴風雨対策	・気象情報を常に確認し災害の危険性について意識し行動していきます ・大規模災害等が予想される場合は区役所、事務局とも連携し、来館者の安全を優先した対応を行います
5. 研修会、講習会の開催	・職員、スタッフに対して 消防署、警察署と連携した研修会等を開催します 研修は緊急時の対応、AED機器の取り扱いなど実践に即した内容とし、いざという時にすべての職員、スタッフが適切な行動ができるようにしていきます
6. 自動販売機、公衆電話の設置	・災害時は自動販売機の飲み物が利用できるようになっています また公衆電話を設置し緊急時に対応します

(3) 利用者のニーズ・要望・苦情への対応

利用者の意見、要望、苦情等の受け付け方法や、これらに対する改善方法について、具体的に記載してください。

■ 利用者のニーズ・要望・苦情への対応

- ・いつでも利用者の話を聞き、要旨を正しく理解して適切な対応をします。
- ・**提案箱を設置**し、いつでも意見・要望や苦情を伝えることができますようにします。利用者からの意見、要望や苦情に対しては、必ず回答します。
- ・利用者からの意見及びそれに対する回答については、毎日3回(朝・昼・夕)スタッフミーティングの中で、情報を共有することにより対応の統一化を図ります。また、利用者の意見を参考に、日常業務や施設運営などの見直しを行いその後の運営に生かしていきます。
- ・毎年**お客様アンケートを実施**し事業の改善等に繋げていきます。



お客様の意見により
手すりの位置を
変更しました。

■ 信頼の持てる接遇への取組

横浜市の公共施設として誰もが安心して楽しく気持ちよく利用できるように、納得のいくサービス提供を行い公平・公正に管理運営することを基本とします。すべての利用者にあいさつと笑顔をもって接し、明るい雰囲気を保つように努め「親切・丁寧」を心がけていきます。

また、多様化するニーズに適切に対応するためには職員1人ひとりの能力向上は勿論のこと、お客様への安心・安全サービスを第一に徹することが求められています。そこで、スタッフ全員の意見や感想等を大切に、検討や話し合いの場を身近に持つことによりお互いの研鑽を勧めより良いサービスの提供ができるようにします。



対応マニュアル



全体研修



入口では元気な
お魚がお迎えします

- (4) 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など、本市の重要施策を踏まえた取組
個人情報の保護や法人の運営状況等の公開、環境への配慮、人権尊重への取組、市内中小企業優先発注などについて、具体的に記載してください。

■ 個人情報の保護

- ・収集にあたっては、利用目的を特定して本人に伝え、その範囲を逸脱しません。
- ・情報管理にあたり、以下の点を徹底します。
 - ・個人情報を含む文書はパソコン本体に保存しない。
 - ・個人情報の入った記録媒体は金庫管理とし、持ち出し厳禁とする。
 - ・個人情報の入った書類は鍵のかかる書棚に保管し、退出時には施錠する。
 - ・職務上知り得た個人情報は守秘義務を厳守する。
- ・職員、スタッフを対象に年1回「個人情報の取り扱いについて」の研修を実施し報告書を区役所に報告します。また日常業務の中でお互いに気が付いたことを日々のミーティングで話し合い気付き合える関係を構築していきます。

■ 運営状況等の公開

- ・さかえ区民活動支援協会は経営方針、各施設の事業計画書・事業報告書・第三者評価の結果をホームページに公開しています。

■ 環境への配慮

- ・中庭には花壇を整備し、来館者に季節の花の美しさを感じてもらえるようにします。また、水琴窟や裏庭の木陰にベンチ等を設置し自然の中でゆっくりと過ごせる時間を作ります。
- ・桜の季節にはお花見を楽しんでもらえるよう庭を開放します。その際施設の見学等も積極的に進めていきます。



春の花壇



樹木の剪定

- ・室内空気の入替には自然の風が入るよう網戸の利用を心掛け電気代の節電に努めます。
- ・省エネルギー対策として資源ごみの徹底した分別収集に協力し、ゴミの削減に努め節電、節水をこまめに行います。また、コピー用紙の裏紙利用、ペットボトルやエコキャップの回収等資源の有効活用にも努めます。

■ シルバー人材センターの活動

- ・広域の裏庭、バスロータリー等の樹木の剪定、草刈りなどを計画に沿って行い来館者が常に気持ち良い風景の中で楽しめるようにします。

(5) 新型コロナウイルス感染症等に係る対応

利用者が安全に施設を利用できるよう、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等について具体的に記載してください。またコロナ禍はじめとしたさまざまな状況においても、利用者が積極的に利用・参加できるような工夫についても記載してください。

■ 新型コロナ対策について

健康管理	来館前	自宅での健康チェックのお願い
	来館時	自動検温機での体温チェック、自動噴霧器による手指アルコール消毒
	トイレ使用後	手洗い、手指消毒
	作業・活動終了後	手洗い、手指消毒
	館内の利用	マスク着用 対面活動はフェイスシールド装着
設備、物品	各部屋	換気用網戸、光触媒環境浄化装置（空気清浄機）設置
	トイレ洗面台	センサー式自動水栓の取り付け
	受付カウンター 囲碁将棋室	アクリル板の設置、パーテーションスクリーン設置 対局用パーテーションの製作
	マニュアル整備	共有物品の管理、施設内設備の消毒作業等
施設運用	定員制限（部屋毎の設定）	ソーシャルディスタンスの確保
	来館者カード記入	コロナ発生等緊急時連絡先の把握
	椅子、机、ソファの 使用制限	間隔を空け、所定の位置を決定 ソーシャルディスタンスの声かけ

ツイッター
お知らせ

来館時のお願い

家で熱を測り 体調のすぐれないときは
来館を見合わせましょう
マスク着用！
靴用ビニール袋・室内スリッパ持参
手洗い・アルコール消毒をまめに！
部屋の換気に協力を！
感染症予防対策（三密を避ける）を守る

コロナ対策のため

検温機（入口で熱を測ります）
自動手指消毒器（入口で手指消毒をします）
自動水栓（蛇口に触らないで手を洗います）
空気清浄機（部屋の除菌、消毒をします）
網戸（空気の流れ換えをします）

カラオケは当面できません

バス時刻が変更になっています



体温測定



空気清浄機



自動水栓

■ 利用者への対応

- ・ ツイッター、チラシ等により翠風荘の状況を把握できるようにしました。
- ・ コロナ感染予防対策を徹底し、定員の調整や内容の検討、会場の工夫等により自主事業を開催します。
- ・ 利用者のコロナ対応についての説明は丁寧に行い、部屋の利用、時間や活動の制限などへの理解を促し、お互いの安全対策を確立します。

5 事業の企画・実施

(1) 事業計画、事業展開（老人福祉センターの基本的な機能について）

高齢者の社会活動を支援する場の提供や、各種相談、並びに教養の向上及び趣味やレクリエーションの機会の提供など、魅力的かつ具体的な事業計画、事業展開を記載してください。また、高齢者の健康づくりや介護予防の推進についての具体的な取組を記載してください。

自主事業のモットーは、～楽しいことをいつまでも～

やりたいことがある、一緒にやる仲間がいるということは、生きがいを高め、気持ちを明るくします。多くの方に趣味の教室に参加していただき、それを契機として、新たな境地を開き、友達の輪を広げたり深めたりしながら、明るくはつらつと、健康で豊かな老後にしていただければと考えます。

栄区は、安心・安全なまちづくりを目指し地域とともにセーフコミュニティを推進しています。翠風荘は、そのセーフコミュニティを中心に「健康増進」、「教養の向上」、「生きがい」の3つのコンセプトを基に豊かな自主事業を展開していきます。

自主事業

健康増進

- ・みんなで輪踊り
- ・元気ダンス
- ・いきいきヨーガ
- ・さわやかスポーツ、等

教養の向上

- ・手話を学ぼう
- ・数学で頭を鍛える
- ・古典文学の世界
- ・俳句を身近に、等

生きがい

- ・鎌倉彫でアクセサリー
- ・歌ってハツラツ
- ・篆刻（てんこく）を知る
- ・集いのカフェ、等

スマートフォン教室 ～人気の講座～



文化祭舞台発表 ～さあ本番です～



(2) 施設の利用促進

質の高い接客サービスを提供するための取組み（高齢者の仲間づくりの支援や個人利用に配慮した内容）を記載してください。利用人数、稼働率の向上に対し、効果的・具体的な取組を記載してください。

■ 接客サービスを提供するための取組

日常の運営にあたっては、常に「利用者にとってどうなのか」という利用者サイドに立った視点で検討・判断をし、利用者ニーズを踏まえ、公平性を保ちながら、サービス向上を図ります。利用者会議や利用者アンケート結果を色々な視点から分析して課題を抽出し、対応策を講じます。



令和元年度利用者アンケート結果

女性の利用は6割
70歳代の人が65%
利用の目的は同好会の活動が53%
利用頻度週に1回が25%、月2～3回が45%でした。

■ 利用者数、稼働率の向上に対し、効果的・具体的な取組

利用者数の向上	
1 魅力的な教室	利用者アンケートを実施「古文書等の解説」「麻雀教室」等希望があり 元年度は「女性のための麻雀教室」を開催 消防署「ヒートショック予防」講座の開催
2 多世代交流	「翠風荘文化祭」の開催を地域の人たちにPR 来館を案内する 保育園児との交流会の開催
3 良好な環境づくり	自動運転バス（桂山公園～ネオポリス）利用の促進予定
4 施設利用のPR	「無料休憩所」としてハイキングコース利用者へPR
稼働率の向上	
5 広報	スーパーのPRボックスの利用
6 団体利用の促進	登録外団体の当日利用、共有物品の貸し出しを実施 シニアクラブのカラオケ大会を開催
7 個人利用の促進	空き部屋がある時の当日申し込みの受付

「女性のための麻雀教室」
大変好評でしたが、コロナの影響で同好会までは結び付きませんでした。



6 区で強化したい機能

(1) 高齢者の健康づくりのための事業展開

周辺の自然環境を生かし、ウォーキングなど、高齢者の健康づくりのための事業展開について記載してください。

■ 高齢者の健康づくりのための事業展開

横浜市中期4か年計画で進める「370万人の健康づくり」「栄区運営方針」「セーフコミュニティさかえ」「栄区地域福祉保健計画」に積極的に貢献します。

・よこはまウォーキングポイントの歩数計機設置

受付に「よこはまウォーキングポイント」の読取機を設置し、楽しみながら継続して健康づくりができる拠点としての役割を担います。

・よこはま健康スタンプラリー

自主事業の「らくらく体操」「輪踊り」「さわやかスポーツ」を「よこはま健康スタンプラリー」の対象事業としてエントリーし、活動を楽しみながらポイントが貯められるようにします。

・ヒートショック対策

地域ケアシステムの推進として、区役所、消防署等協力し身近な危険を防止するため「ヒートショック」への対処法の講話会を開催します。

・グランドゴルフ

翠風荘は緑豊かな環境のもと、横浜市スポーツ協会との連携事業を推進し、広い庭を活用して月1回定期的にグランドゴルフを行います。

・介護予防の相談会

さまざまなイベント開催に合わせて、近隣施設の協力を得てケアマネージャーなどの専門家による介護予防の相談会を実施します。(年2回)

・健康相談

月1回 看護師による健康相談を実施します。

・近隣施設との交流(9月)

敬老のお祝いとして園児が歌やハーモニカ演奏をします。翠風荘同好会による安来節や南京玉すだれなどの披露もあり園児や高齢者の楽しい笑い声が響きます。毎年楽しみにしている人も多く、お互いの思いやりの心を育てます。



消防署からのお話
～安全なお風呂の入り方～



保育園の子供たち
の見学

7 収支計画及び指定管理料

指定管理料の額及び施設の課題等に応じた費用配分

収支計画、利用者サービスのための経費に対する考え方や修繕費への配分などについて施設の特性を踏まえて記載してください。

■ サービス向上等、メリハリの効いた予算執行の実施

《基本的な考え方》

■ 魅力ある自主事業の企画・実施

魅力ある自主事業を実施する事業費には、重点的な支出を配分し、利用者の満足度を高め、繰り返し来館する利用者を増やします。内容は日頃から来館者の声を聴きながらその内容を検討していきます。



プロの演奏：翠のサロン

■ 利用者サービスに関する支出

サービス向上に関する経費は、効果的に支出します。段差の解消、使いやすいトイレへの改修、衛生的な室内環境のための整備等積極的に対応します。

■ 効果的な修繕費の支出

利用者が快適で使いやすい状態に保つこと、安全に使用できることを基本に、修繕費を支出します。大きな修繕は計画的に行うために全体のスケジュールを立て、活動に支障が生じないように運用を進めていきます。また、職員が対応可能な修繕は職員が行い経費の節減を図ります。

■ 人件費のコストの抑制

サービス低下とならないよう配慮しながら人件費・管理費等の固定費の増加を抑えて、健全経営を行います。したがって、最小の職員で最大の効果を上げる工夫をします。

「文化祭」や「翠のつどい」などの大規模なイベントは、通常の勤務体制の中でスタッフが連携し、効率的・計画的に準備、開催を進めていきます。

■ 光熱水費の節減

室内温度の適正管理・不要な照明のスイッチを切るなど、光熱水費の節減を図ります。使用時間が限られる箇所には、効果を見極めて節電を図ります。また、窓を開放する事により室温の調整を行い冷房運転の期間を短くします。

■ さらなる経費節減の取組

消耗品・事務用品等の在庫管理の適正化を図ります。コピーの裏紙使用などを徹底するとともに、事務室の消耗品・備品等の再利用を徹底します。



ウォームレット・便座消毒クリーナーの設置



シルバー人材センターによる剪定

8 加減点項目 前期の指定管理業務の実績（現在の指定管理者のみ記載してください。）

前期の指定管理期間における老人福祉センター事業の実績を記載してください。

また、新型コロナウイルス感染症拡大に係る取組等について記載してください。

翠風荘は、昭和 51 年に開設し 45 年が経過しています。建物の老朽化が進み浴槽や洗い場などから漏水が生じたため、平成 25 年 11 月に浴室の使用が停止されました。
また令和 2 年度には栄プールの廃止（令和 2 年 3 月末）に伴うメンテナンスの整備のために朽化した給水管等の改修工事が実施されました。

◆年度別 自主事業の実績

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	合 計
回 数	170 回	207 回	185 回	156 回	718 回
参加者数	6,179 人	6,153 人	5,819 人	4,958 人	23,109 人

◆うち、文化祭などの実績

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	合 計
回 数	5 回	7 回	9 回	7 回	28 回
参加者数	1,714 人	1,924 人	2,444 人	2,094 人	8,176 人

■ 令和元年度の取組

【自主事業】 「スマホ体験教室」	スマホを今から始めるという希望者が殺到、受講できなかった人も多かった為、次年度も継続開催予定
【自主事業】 「女性のための麻雀教室」	同好会としての継続を予定していたが、コロナ禍による休館等で開催が出来なくなったため、実施方法を検討
【自主事業】 「所長と一緒に！山散歩」	山岳ガイド指導の下周辺の山を散策 新しい講座として好評 「身近な自然を感じることができた」と感想有
【自主事業】 「輪踊り」	講師の評判が高く 毎回多くの参加者（50 名以上）が楽しみにしているため経年的に開催中
【自主事業】 「翠のサロン」	隔月開催（奇数月）栄区民文化センターから派遣された音楽家が演奏を披露 毎回 50～70 名の参加あり
バリアフリー化	大広間入り口に滑り止め付きスロープを設置
（和室）障子の張替え	「表装同好会」に依頼
イベントチラシの回覧	近隣自治会で回覧 利用促進チラシをポスティング

◆年度別 部屋稼働率

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	4 年間の平均
67%	71%	68%	69%	69%

◆年度別 同好会数

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	5 年間の平均
48	52	52	53	47	50.4

- ・自主事業に参加したメンバーがその後自主グループとして活動し、同好会へと発展したため数の増加がみられます。（盆栽同好会など）

■ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る取組

施設の利用が安心、安全にできるよう感染症予防を徹底します。

職員、スタッフが常に正しい知識を持ち、適切な行動がとれるようマニュアルの整備を行い、ミーティングの時間を設けます。また日頃の連絡体制を強化していきます。

それに加え利用者自身が感染症予防対策をすすめることにより、「感染しない」「感染させない」行動が積極的にとれるよう支援していきます。

利用者の対応	・体調管理、体温測定の実施 ・マスクをつけて行動する ・手洗い、手指消毒をこまめに行う ・人ごみを避け、ソーシャルディスタンスを意識していく ・規則正しい生活を送る（睡眠、食事等の注意） ・正しい情報を取り入れ、それに伴った行動をする→相談窓口の周知 テレビ、新聞、広報等からの情報の把握 ・感染症予防対策に責任をもって対応する→使用部屋や物品の消毒 活動範囲、利用人数の制限等への理解
施設の対応	◎三密の回避→安全を図りつつ事業をすすめる ・密閉予防：窓開け、換気の習慣づけ、空気清浄機の利用 ・密集予防：ソーシャルディスタンスの厳守 人数、時間制限等 教室のレイアウトの工夫、変更 ・密接場面制限：会話を控える 野外での密集注意 大声の禁止 館内飲食禁止 ◎衛生管理 ・施設設備の管理（自動水栓、網戸、検温機、椅子、机レイアウト等） ・共有物品の貸し出し制限と消毒の徹底 ・感染症予防対策の周知
職員・スタッフの対応	・施設利用についての正しい知識の習得 ・利用者への声かけ、相談等 ・施設内の消毒、清潔保持対策の徹底
その他	・新型ウィルスに関する関係機関との情報共有等



消毒セット
～利用者が消毒をした後
スタッフが再度消毒を実施～



ロビー
～ソーシャルディスタンス
を守ります～

様式4-①

老人福祉センター横浜市翠風荘自主事業計画書

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
鑑賞 翠のサロン・ミニコンサート 前期・後期(奇数月)	60歳以上	240,000	240,000	0	240,000	0	0
	30人						
	0						
鑑賞 御衣黄桜お花見会 4月	60歳以上	0	0	0	0	0	0
	無制限						
	0						
鑑賞 梅の実収穫祭 6月	一般	0	0	0	0	0	0
	無制限						
	0						
鑑賞 演芸大会 6月・11月	60歳以上	0	0	0	0	0	0
	70人						
	0						
鑑賞 翠風荘・文化祭 10月(3日間)	一般	88,000	88,000	0	88,000	0	0
	無制限						
	0						
鑑賞 翠風荘・翠のつどい 12月	一般	0	0	0	0	0	0
	無制限						
	0						
健康 自彊術 4月～3月(4回)	60歳以上	26,000	26,000	0	24,000	0	2,000
	15人						
	0						
健康 元気ダンス&シークエンスダンス 4月～3月	60歳以上	78,000	78,000	0	72,000	0	6,000
	15人						
	0						
健康 みんなで輪踊り 4月～3月	60歳以上	78,000	78,000	0	72,000	0	6,000
	30人						
	0						
健康 らくらく体操 4月～3月	60歳以上	78,000	78,000	0	72,000	0	6,000
	30人						
	0						
健康 さわやかスポーツ 4月～3月	60歳以上	41,000	41,000	0	35,000	0	6,000
	18人						
	0						
教養 手話教室 10月～1月	60歳以上	48,000	48,000	0	48,000	0	0
	20人						
	0						
健康 ターゲットバードゴルフ体験 10月	一般	0	0	0	0	0	0
	20人						
	0						
健康 安全・安心お風呂の話 12月	60歳以上	0	0	0	0	0	0
	30人						
	0						
健康 介護・福祉相談 12月	60歳以上	0	0	0	0	0	0
	20人						
	0						

様式4-①

老人福祉センター横浜市翠風荘自主事業計画書

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

教養	60歳以上						
東海道中膝栗毛を読む	30 人	72,000	72,000	0	72,000	0	0
4月～9月	0						
教養	60歳以上						
プレバト教室(俳句)	15 人	36,000	36,000	0	36,000	0	0
4月～2月(隔月)							
教養	60歳以上						
交通安全のお話	無制限	0	0	0	0	0	0
4月・7月・9月・12月	0						
教養	60歳以上						
スマホの便利な使い方	15 人	0	0	0	0	0	0
5月・7月・9月・11月・1月・3月	0						
健康	60歳以上						
転倒予防体操	10 人	0	0		0	0	0
11月							
工芸	60歳以上						
鎌倉彫でアクセサリー	10	12,000	7,000	5,000	6,000	4,000	2,000
6月	500						
工芸	60歳以上						
篆刻	10	12,000	7,000	5,000	6,000	4,000	2,000
12月	500						
工芸	一般・60歳以上						
自然の素材で作ってみよう(独楽・サンタ人形づくり)	15 人	21,000	12,000	9,000	12,000	9,000	0
8月・12月	300						
いきがい	60歳以上						
歌ってハツラツ	20 人	66,000	66,000	0	66,000	0	0
4月～3月	0						
いきがい	60歳以上						
野草を育ててみよう	10 人	44,000	24,000	20,000	24,000	20,000	0
4月・5月 10月・11月	2,000						
教養	60歳以上						
やり直しの数学	10 人	36,000	36,000	0	36,000	0	0
7月～9月	0						
いきがい	60歳以上						
住まいの修繕 (包丁研ぎ・水回り)	20 人	0	0	0	0	0	
8月	0						
いきがい	一般						
新鮮野菜即売	20 人	0	0	0	0	0	0
8月・10月	0						
健康	60歳以上						
ベリーダンス	10人	36,000	36,000	0	36,000	0	0
1月～3月	0						
健康	60歳以上						
健康相談	無制限	72,000	72,000	0	72,000	0	0
4月～3月	0						
合 計		1084000	1045000	39,000	1017000	37,000	30,000

老人福祉センター横浜市翠風荘自主事業別計画書（単表）

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
鑑賞	目的	実施時期
翠のサロン ミニ・コンサート 【栄区民文化センター(リリス)連携】	プロによる様々なジャンルの生の演奏を間近で聴き、心豊かなひと時を持ちます。	奇数月
	内容	回 数
	栄区民文化センター(リリス)と連携し、サロンの空間の中で、ヴァイオリン・ピアノ・トランペットなど様々な楽器の生演奏を聴きます。	6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鑑賞	目的	実施時期
御衣黄桜お花見会	花卉が萌黄色から淡黄白色を経て透き通るようなピンクへと変化する不思議な桜を、地域の多くの方々にも観賞してもらいながら、当館の魅力をアピールすると共に交流を深めます。	4月
	内容	回 数
	御衣黄桜の開花に合わせ、近隣住民の方にも庭園を開放し、花卉の色が変わっていく珍しい桜を鑑賞します。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鑑賞	目的	実施時期
梅の実収穫祭	庭内に実った梅の実を利用者に還元します。	6月
	内容	回 数
	翠風荘内になった梅の実を職員・利用者が一緒に収穫し、収穫の喜びを共にします。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鑑賞	目的	実施時期
演 芸 大 会	大広間で毎日やっている、歌や踊りなどを発表し、親睦を深めるとともに、利用者個々の向上心を養います。	6、11月
	内容	回 数
	演目は歌・踊り。当日は近隣住民の方々にも広く開放し、地域住民との交流を図ります。	2回

老人福祉センター横浜市翠風荘自主事業別計画書（単表）

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
鑑賞	目的	実施時期
翠風荘 文化祭	各同好会の活動成果発表の場として開催し、同好会同士、個人利用者との交流を図ると同時に、近隣住民や栄区シニアクラブ等に周知することで、翠風荘の利用促進を図ります。	10月
	内容	回数
	展示：書道・ペン習字・生け花・水彩画・表装・俳句等 発表：フラダンス・ウクレレ・詩吟・民謡・マジック等 体験：ミニブリッジ・大正琴・水彩画・アラビア書道 他：落語	1回 (3日間実施)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鑑賞	目的	実施時期
翠風荘 翠のつどい	文化祭で発表できなかったサークルの発表の場を設け、地域に一般開放して翠風荘を広く知ってもらいます。	12月
	内容	回数
	発表：社交ダンス、フォークダンス、英語で歌おう イベント：みんなで輪踊り、介護福祉相談、エコ運転体験等 デコパージュ、鎌倉彫、陶芸の展示即売、新鮮野菜市	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康	目的	実施時期
自彊術	自彊術は治病を目的とした運動療法で、固くなった筋肉をほぐし、ゆがんだ骨格を改善し、健康を回復し、維持増進します。	4～3月
	内容	回数
	31の動作があり、各人の身体状況に応じて その身体可動の極限まで、動かします。独特の呼吸法と号令があります。	4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康	目的	実施時期
元気ダンス&シーケ ンスダンス	日本介護予防ダンス協会の1級ゼネラルアドバイザーによるダンス指導で、楽しく健康の増進を図ります。	4～3月
	内容	回数
	昔懐かしい、50年代60年代のダンス音楽に合わせ、やさしいダンスをします。	12回

老人福祉センター横浜市翠風荘自主事業別計画書（単表）

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康	目的	実施時期
みんなで輪踊り	参加者全員で輪を作り、そろって楽しく踊りながら、振り付けを覚えて心身の活性化と健康増進を図ります。	4～3月
	内容	回数
	ベテラン講師の指導のもと、「炭坑節」、「火の国太鼓」、「河内おとこ節」、「青いダイヤモンド」、など楽しく振付を習いながら踊り方を習得します。	12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康	目的	実施時期
らくらく体操	関節を柔らかくすることで歩くこと、座ることを「らくらく」にします。	4～3月
	内容	回数
	ベテラン介護予防指導士による指導で、呼吸を整え、仰向けになったり、座った姿勢で、無理なく身体を緩やかに動かします。	12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康	目的	実施時期
さわやかスポーツ 【さわやかスポーツ連携】	いつでもどこでも気軽にできるニュースポーツ『よこはま さわやかスポーツ』を通じ、高齢な利用者の健康づくりや仲間づくりに役立てると共に、健康増進を図ります。	4～3月
	内容	回数
	横浜市体育協会（さわやかスポーツ普及委員会）の指導受け、「グラウンドゴルフ」のほか「生活体力測定」を楽しみながら行います。	10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
教養	目的	実施時期
手話教室	手話は、耳の聞こえの不自由な方にとっての大切なコミュニケーション手段、そして かがえのない言語です。手話を必要とする人とお互いを認め合いながら、安心して暮らせる社会に向け、少しでも役立つため手話への理解を深め、簡単な手話を習得する。	10～1月
	内容	回数
	簡単な手話を習います。	8回

老人福祉センター横浜市翠風荘自主事業別計画書（単表）

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康	目的	実施時期
ターゲットバード ゴルフ体験	ゴルフボールにバドミントンの羽を付けたボールをゴルフクラブで打ち、打数の少なさを競う、誰でも、手楽に安全に楽しめるターゲットバードゴルフを体験し、楽しみづくり、健康増進を図ります。	10月
【栄区シニア クラブ連携】	目的	回 数
	栄区シニアクラブ連合会と連携し、緑豊かで広い当館外庭グラウンドで、のびのびと、楽しくターゲットバードゴルフを体験し、楽しめます。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康	目的	実施時期
安全・安心お風呂の話	浴槽内での溺死や溺水は、寒い時期が多いとの救急搬送データに基づき、栄区が推進するセーフコミュニティの一環として、「安全・安心お風呂の話」を開催し、高齢な当館利用者のヒートショック予防を図ります。	12月
【消防署連携】	内容	回 数
	栄消防署の協力を得て、寒い冬場高齢な利用者のヒートショックを予防するため、「安全なお風呂の入り方」や「もしもの時の応急処置」等の内容とした講演会を開催します。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康	目的	実施時期
介護・福祉相談	介護・福祉相談会を開催し、介護・福祉に関する疑問に応えます。	12月
【野七里ケアプラザ連携】	内容	回 数
	上郷苑の介護支援専門員を招き、「介護・福祉」に関して、親切、適切な相談に応じます。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
教養	目的	実施時期
東海道中膝栗毛を 読む	読むたびに新しい問題の発見があると言う古典が最近人気となっています。いにしえの文学世界を学ぶことで、教養を深めると共に、脳の活性化を図ります。す。いにしえの文学世界を学ぶことで、教養を深めると共に、脳の活性化を図ります。	4～3月
	内容	回 数
	元鎌倉学園校長をされた講師による丁寧で、分かりやすい解説で、今回は「東海道中膝栗毛」の講読・解説をします。	22

老人福祉センター横浜市翠風荘自主事業別計画書（単表）

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
教養	目的	実施時期
プレバト教室(俳句)	日常的でありながら 特別な自分の体験を、季語をもって五・七・五の中に描き、季節への繊細な心を、また、＜をかしみ＞をも感じ、暮らしを豊かに過ごす。	4～2月
	内容	回 数
	季節に合わせ俳句を詠み、講師に批評・添削してもらう。	6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
教養	目的	実施時期
交通安全のお話 【栄警察署連携】	交通安全の話を聞き、高齢の利用者が被害者・加害者にならないように啓発します。	4、7、 9、12月
	内容	回 数
	栄警察署交通安全課を招き、交通安全に関する講話を聞き、DVDを見ながら交通安全に係わる様々な事故の予防について理解を深めます。	4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
教養	目的	実施時期
スマホの 便利な使い方	スマートフォンの便利な使い方を習得して日常生活に役立てます。	奇数月
	内容	回 数
	スマートフォンのいろいろな機能を知り、操作方法を習います。	6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康	目的	実施時期
転倒予防体操	高齢者の事故の七割以上が、転倒・転落です。筋力の低下で転倒リスクは4倍以上になるとされています。転倒から骨折・寝たきりになるのを防ぐために体操を広く知ってもらう。	11月
	内容	回 数
	転倒予防の体操	1回

老人福祉センター横浜市翠風荘自主事業別計画書（単表）

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
工芸	目的	実施時期
鎌倉彫で アクセサリ	陰影ある彫りの味わい、深みある漆の色調、そして、日本古来の素材である木の温もり。これらが見事に調和したこの地域の伝統的工芸品、「鎌倉彫」をはじめてみる。	6月
	内容	回数
	鎌倉彫でブローチなどのアクセサリを作る	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
工芸	目的	実施時期
篆刻	書画などの落款印など、石に掘る実用以外の趣味的な印をつくるのが落款です。年賀状に押す印章を作成します。	12月
	内容	回数
	簡単な掘りの印章を作ります。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
工芸	目的	実施時期
自然の素材で 作ってみよう (独楽・サンタ人形)	自然の素材を使った森のクラフトづくりを楽しみたい、おしゃれなインテリアとして飾りたいという人が増える中、素朴で、素敵な工芸作品を経験豊富な講師の指導で安全に楽しく作成します。	8月・12月
	内容	回数
	夏バージョンは「独楽」など童心にかえり制作を楽しみます。冬バージョンはサンタ人形を作ります。	2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきがい	目的	実施時期
歌ってハツラツ	童謡や唱歌、昭和の青春歌謡等懐かしい歌を、声を合わせて歌うことにより、健康な心身を培います。	4～3月
	内容	回数
	ベテラン講師の楽しい指導で、歌い継がれてきた心に響く歌をみんなで唄います。簡単な準備体操、発声練習で身体と心をほぐした後、合唱することで脳を活性化し、気分を明るくします。	11回

老人福祉センター横浜市翠風荘自主事業別計画書（単表）

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきがい	目的	実施時期
野草を育ててみよう	一品だけでも美しい山野草は、寄せ植えにすると楽しみも倍加し、年月とともに趣が加わり、小さな自然が感じられるようになりますと言われます。山野草の寄せ植えづくり・暮らしを彩る草盆栽をつくりを学びます。	4月・10月
	内容	回数
	山野草の寄せ植えは、最初の配置が大切。野草の選定、育て方等一般的な植え付けの基本を、草盆栽の匠による分かり易い説明と指導で実習し学びます。	8回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
教養	目的	実施時期
やり直しの数学	人間関係を円滑に保てるように、物事を論理的に考える力を養い、脳を鍛え、創造力を増す。	7～9月
	内容	回数
	中学生レベルの数学を勉強します。	12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきがい	目的	実施時期
住まいの修繕教室 (包丁研ぎ・水回り)	住まいの簡単な手入れ方法を学びます。	8月
	内容	回数
	水道の水漏れ等の水回りや包丁研ぎなどの修繕技術を、実習を通じて学びます。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきがい	目的	実施時期
新鮮野菜朝市 【農協連携】	地元の農協との共催で、新鮮な野菜を販売し地域交流の場とします。	8、10月
	内容	回数
	季節の新鮮な野菜を地元農協の協力で販売します。	2回

老人福祉センター横浜市翠風荘自主事業別計画書（単表）

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康	目的	実施時期
ベリーダンス	基本的なステップは、体の部分ごとに分かれた円運動です。腰や肩を床とへ移行に別々に動かすことによって、頭の体操とともに身体を柔らかくして、アンチエイジングをめざします	1～3月
	内容	回 数
	日本の盆踊り、阿波踊りのようなアラブの民族舞踊を踊ります	6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康	目的	実施時期
健康相談	老人福祉法に基づき、利用者を対象に各種の相談に応じ、健康体力づくりに役立てます。	4～3月
	内容	回 数
	看護師が利用者を対象として血圧測定や各種健康に関する相談に応じます。	12回

様式 3

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人 さかえ区民活動支援協会
施設名	老人福祉センター横浜市翠風荘

令和4年度収支予算書(兼指定管理料提案書)

I. 指定管理料

(単位：千円)

提 案 額 (a)	86,360	指定管理料＝小計【イ】を記入 ※区指定上限額 (b) の範囲内で提案してください。
※区指定上限額 (b)	87,960	
差 引 (a) - (b)	▲ 1,600	
提案額の区指定上限額に対する割合 (a) / (b)	98.2%	

II. 令和4年度収支予算書(総括表)

1 収入の部

項 目	合計金額 (単位：千円)	備 考
自主事業収入 [A]	39	
雑入 [B]	220	
小 計 【ア】 ([A]~[B])	259	施設運営収入の計
指定管理料 [C]	86,360	【ウ】 - 【ア】
小 計 【イ】 ([C])	86,360	指定管理料の計
収入合計 (【ア】 + 【イ】)	86,619	

2 支出の部

項 目	合計金額 (単位：千円)	備 考
人件費 [a]	24,489	
事務費 [b]	4,796	
自主事業費 [c]	1,084	
管理費 A (光熱水費等) [d]	11,200	
管理費 B (保守管理費等) [e]	33,330	
公租公課 [f]	20	
事務経費 [g]	11,700	
支出合計 【ウ】 ([a] ~ [g])	86,619	

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。

様式3 (3-②)

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人 さかえ区民活動支援協会
施設名	老人福祉センター横浜市翠風荘

令和4年度収支予算書

2 支出の部内訳

(単位: 千円)

	項 目	内 容 等	金 額	
人件費	常勤職員	所長1名副所長2名給与・通勤費・社会保険料等	ア 13,468	
	時給スタッフ	スタッフ15名通勤費等	イ 11,021	
			ウ	
	小 計		[a] 24,489	ア～ウ
事務費		消耗品費・通信費・備品購入費・リース料・使用料及び賃借料・会議諸費等	[b] 4,796	
自主事業費			[c] 1,084	
管理費A	電気料金		エ 10,000	
	ガス料金		オ	
	上下水道料金		カ 1,200	
	小 計		[d] 11,200	エ～カ
管理費B	修繕費	1件60万円未満の修繕	キ 1,000	
	清掃	日常清掃等	ク 600	
	消防設備		ケ 200	
	機械警備		コ 530	
	空調設備	冷却塔保守点検他	サ 1,300	
	エレベーター		シ	
	自動ドア	保守点検	ス 100	
	電気保守管理点検		セ 9,900	
	非常用放送設備	消防設備点検に含む	ソ	
	害虫駆除		タ 100	
	植栽管理	植木手入れ・除草	チ 300	
	設備総合巡視点検		ツ	
	その他	座布団乾燥・消毒・トイレ消臭等	テ 900	
	ボイラー設備保全	ガス料金・保守管理費用	ト 18,400	
			ナ	
			ニ	
	小 計		[e] 33,330	キ～ニ
公租公課		法人市県民税	[f] 20	
事務経費	労務・経理・契約・職員研修など		[g] 11,700	
小 計 【ウ】 施設管理運営経費計			86,619	[a]～[g]

様式 3 (3 - ①)

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人 さかえ区民活動支援協会
施設名	老人福祉センター横浜市翠風荘

令和 4 年度収支予算書

1 収入の部内訳 (指定管理料除く)

(単位: 千円)

	項 目	内 容 等	金 額	
自主事業収入	参加費	教材費・材料費	ア 39	
			イ	
			ウ	
			エ	
			オ	
	小 計		[A] 39	ア～オ
雑入	コピー・印刷代		カ 70	
	自動販売機売上手数料		キ 120	
	その他		ク 30	
			ケ	
			コ	
			サ	
	小 計		[B] 220	カ～サ
小 計 【ア】		施設運営収入計	259	[A]～[B]

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。